

「関西電力羽曳野営業所前行動」

「なくせ原発！南河内250回アクション」

2017年6月5日

原発ゼロ、再稼働反対を訴えて毎週金曜日の夕方に実施し続けてきた「関西電力羽曳野営業所前行動」が6月2日で250回に到達しました。この行動を呼びかけ支えてきた南河内地域の革新懇ネットワークが、3日に「なくせ原発！南河内250回アクション・集い&パレード」を開催し、約230人が参加しました。

関西電力は5月に高浜原発4号機を再稼働させ、この6日にも3号機も再稼働させようとしています。さらに、大飯原発も年内に再稼働を狙っています。

集いで、実行委員長の杉山彬弁護士が「地下深く埋めようが処理できない放射性物質、地震大国の日本では危険度も大きい。関西電力の再稼働ラッシュを野党の皆さんとともに止めよう」と挨拶しました。

とりくみ報告では、「市民による脱原発行動では、この南河内とともに茨木と寝屋川でも200回を超えている。また、再生可能エネルギーのとりくみも府下的に広がっている」（原発ゼロの会おおさか）、「三ヶ月に1回のパレードと随時の学習会が定着してきた。こうした郊外からのとりくみが重要だ」（なくせ原発河内長野デモ実行委員会）などと報告しました。

今回各野党に参加を要請したところ、4党からメッセージが寄せられ、日本共産党からは清水忠史衆議院議員が参加しました。

「社民党も党是として一貫して脱原発を訴えてきました。市民の皆様とともに手を取り脱原発を野党共闘で頑張っていきます」（社民党）

「私たち緑の党も『原発ゼロでフェアな社会を』とのスローガンの下、すべての原発の運転停止を求めています。原発のない社会をめざして皆さんと共に行動していきたいと思います」（緑の党）

「反原発という人権を守るとりくみすら弾圧する『共謀罪』法案はなんとしても廃案にしなければなりません。皆さんといっしょに新社会党も全力で頑張ります」（新社会党）

「私たち自由党は原発再稼働と消費税増税に反対して時の与党を飛び出したグループです。初志貫徹、ブレることなく怯むことなく原発ゼロを迎えるその日まで一緒にたたかいぬく覚悟です」（自由党）

清水議員は「原発が止まっても電力は足りているのは証明済み。安心・安全な国民が望む再生可能エネルギーによる電力が求められている。（中略）岐阜県警大垣署による市民運動監視事件をみても、犯罪に及んでもいない市民を監視対象とし弾圧するものだ。「共謀罪」法案は国民を黙らせるものであり、ともに廃案に追い込もう」と訴えました。

集いの後、手作りのプラスターなどを持ち、「原発すすめる総理はいらない」「アベさん辞めて」など唱和しながら古市駅前までパレードしました

